

平成 20 年 4 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社 USEN
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 宇 野 康 秀
 (コード番号: 4842 ヘラクレス)
 問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 紺 屋 勝 成
 電 話 番 号 (03 6823 7015)

業績予想の修正及び一時費用の計上に関するお知らせ

2008 年 8 月期中間期において、当社グループの放送・業務店事業を中心とする主要事業は前年対比安定的に推移し、概ね計画通りの進捗状況にあります。一方で、人材関連事業において昨年発生したシステム障害等により当該事業の収益の回復に遅れが生じていることを主な理由として、2007 年 8 月期末に公表しました、2008 年 8 月期（2007 年 9 月 1 日～2008 年 8 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、昨今の金融市場の混乱に伴う株式相場の下落の影響を受け、当社単体の 2008 年 8 月期中間決算において投資損失引当金を計上する他、棚卸資産の評価に関する会計基準の早期適用等の特別損失を含む一時費用を計上する必要が生じたのでお知らせします。なお、当社連結子会社である株式会社ギャガ・コミュニケーションズに関して、当社連結決算上で合計 2.6 億円（映像使用権の減損 5 億円、のれんの減損 2.1 億円）、当社単体決算上で 2.4 億円（関係会社株式評価損）の一時費用を計上しましたが、メディア・プラットフォーム事業へ経営資源を集中すべく、映画事業に伴う大きな収益変動リスクを遮断する施策を実施していく方針を具体的に検討していきます。

記

1 2008 年 8 月期 業績予想の修正

(1) 通期連結業績予想数値の修正（単位：億円）

	売上高	営業利益
2007 年 8 月期末発表予想 (A)	3,100	170
今回修正予想 (B)	2,950	120
増減額 (B - A)	150	50
増減率 (%)	4.8%	29.4%
(為参考)		
2007 年 8 月期通期実績	3,012	159

(2) 業績予想修正の主な理由

当社連結子会社である株式会社インテリジェンスは、人材関連業界におけるリーディング・プレーヤーとして、主に、正社員向け人材紹介事業及びパート・アルバイト向け求人広告事業において強固な事業基盤を築いてきました。一般的に景気の先行きに慎重な見方が出始めている中で、バブル崩壊後の雇用縮小と団塊世代の大量退職、終身雇用制崩壊を背景に、企業の正社員中途採用に対するニーズと転職市場への人材の流入は引き続き堅調に推移する見通しとなっております。また、パート・アルバイトについても、

少子化に伴う慢性的な人材不足に伴い、企業の求人ニーズは高い水準で推移することが見込まれており、求人広告の費用対効果を改善することにより中長期的に安定的に成長する見通しとなっております。

一方で、パート・アルバイト向け求人広告事業において昨年発生したシステム障害以降、完全復旧に向けて迅速な対応が行われているものの、当初予定していた2008年8月期の業績予想を達成することは困難な状況となっております。その他当社グループ事業の業績動向も勘案し、2008年8月期の連結売上高の予想を3,100億円から2,950億円、連結営業利益の予想を170億円から120億円へ減少するものであります。

尚、経常利益以下の予想につきましては、現在進めております当社グループ内の事業統合の方法如何により変動することが予想されるため、記載しておりません。

2 一時費用の計上

昨今の金融市場の混乱に伴う株式相場の下落の影響等により、2008年8月期中間期において、当社単体決算上で合計431億円（うち株式会社インテリジェンス株式に対する投資損失引当金の繰入339億円、株式会社ギャガ・コミュニケーションズ株式の評価損24億円）当社連結決算上で合計126億円（うち株式会社ギャガ・コミュニケーションズに関するのれん減損損失21億円）の一時費用を計上いたしました。株式会社ギャガ・コミュニケーションズが行う映画事業につきましては、当社グループにおけるコンテンツの安定的な調達体制の整備が完了し、当初の目的が達成されたことから、映画事業に伴う大きな収益変動リスクを遮断する施策を実施していく方針を具体的に検討していきます。当該施策の詳細につきましては現在検討中ではありますが、正式に決定した段階でお知らせいたします。

(1) 連結決算における一時費用

連結決算上の一時費用項目は下記の通りです。

区分	詳細	金額
売上原価		
減損損失	映像使用権減損	5億円
売上原価内の一時費用合計金額		5億円
営業外費用		
資金調達の諸経費	リファイナンスに伴う費用	14億円
営業外費用内の一時費用合計金額		14億円
特別損失		
固定資産除却損等	遊休資産等の除却及び減損	19億円
のれん減損損失	株式会社ギャガ・コミュニケーションズ	21億円
	株式会社メディア（現 株式会社UCOM）	17億円
棚卸資産評価損	棚卸資産の評価に関する会計基準の早期適用	7億円
その他		43億円
特別損失合計金額		107億円
連結決算における一時費用合計金額		126億円

(2) 単体決算における一時費用

単体決算上の一時費用項目は下記のとおりです。

区分	詳細	金額
営業外費用		
資金調達の諸経費	リファイナンスに伴う費用	1.4 億円
営業外費用内の一時的費用合計金額		1.4 億円
特別損失		
投資損失引当繰入額	株式会社インテリジェンス	3.39 億円
関係会社株式評価損	株式会社ギャガ・コミュニケーションズ	2.4 億円
	株式会社メディア（現 株式会社UCOM）他	1.9 億円
固定資産除却損		7 億円
その他		2.8 億円
特別損失合計金額		4.17 億円
単体決算における一時的費用合計金額		4.31 億円

以 上